

尿中に糖排泄を促す新たな経口薬 SGLT2



尿糖って出しているの？
出ない方がいいのでは？

尿糖とは

採尿時間によっては出ないこと出ることもあります。尿中に糖が出る血糖値の指標としては160～180と言われます。つまり、尿糖が出るということは180程度以上の血糖値の時があるということとなります。

SGLT2 という薬剤とは

尿細管からの糖の再吸収を抑制することで、血中血糖値を下げます。血糖依存性といって、血糖値が高い時に作用し、低い時は効果が出にくいため、低血糖になりにくく、安全性の高い薬剤です。

糖分を体内に取り込まないようにするため、減量効果も期待できます。脂肪細胞はインスリン抵抗性や血圧上昇作用を持っているので、肥満の方は減量することだけでも治療となるのです。ただし、薬剤効果による減量は、薬剤をやめることで体重が戻る可能性はあります。



SGLT2 使用における看護のポイント



糖分の高い尿を排泄させるため、尿路感染症・性器感染症に注意が必要です。尿量は増えますが、増えたからと言って水分量を減らさずに、いつも以上に水分を取ってもらうこと、尿意は我慢しないようにするという説明を行います。高齢患者さん、腎機能低下患者さんには使用に注意が必要です。

本薬剤使用では、尿糖が出ている方が効果があると考えられます。

院内採用の SGLT2

